

2021年8月2日

積水化成品工業株式会社（本社：大阪市北区西天満2-4-4 社長：柏原正人）は、持続可能社会に貢献する植物由来の原料を使用したポリマー微粒子「テクポリマー BIO EF-C シリーズ」を開発しました。

テクポリマー® BIOシリーズを拡充

1. 開発の経緯

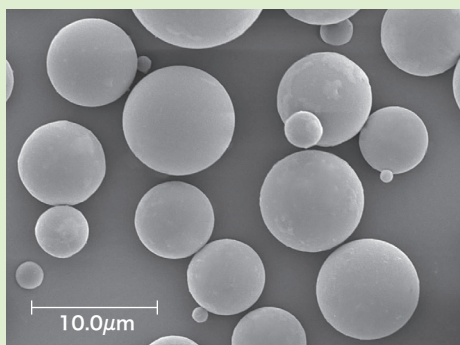
「テクポリマー」は、独自の重合技術を用いたポリマー微粒子で、液晶ディスプレイの光拡散剤や、化粧品の添加剤、塗料の艶消し剤など、さまざまな用途で使用されています。一方、廃プラスチック問題による環境汚染や気候変動による地球温暖化への対策が世界全体で課題となっており、SDGs の取り組みを推進し、脱炭素社会を目指して、環境負荷を低減する素材の開発が求められています。

当社は、これまでも環境に配慮した「テクポリマー BIO」を展開し、生分解性微粒子である EF-A シリーズ（水中分解性）や EF-B シリーズ（土壌分解性）を市場投入しており、この度、植物由来原料を使用し、従来シリーズよりも耐久性に優れ、塗料などの添加剤として扱いやすい「テクポリマー BIO EF-C シリーズ」を新たに開発しました。

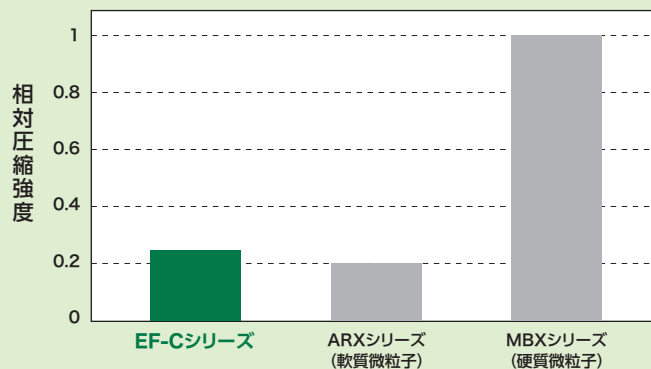
2. 特長

- バイオマス度50%のポリマー微粒子です。（国内外のバイオマスマーク申請中）
- 耐溶剤性や耐久性に優れるほか、粒子径などのカスタマイズ対応も可能です。
- ソフトな触感や復元性を持つ軟質粒子であり、艶消しに加えて塗料の触感改良にも使用できます。

粒子の形状

粒子の柔らかさ (S-10強度[※])

EF-Cシリーズは、従来の軟質微粒子ラインナップと同等の柔らかさです。



※粒子径を10%圧縮した時の強度

3. 今後の展開

- ① 販売計画（「テクポリマー」全体）：2025年度 70億円
- ② 想定分野 / 用途：自動車内装材の塗料用途、照明カバーの光拡散剤など

積水化成品グループは、「環境リーディングカンパニー」を目指し、従来から注力している3R活動 (Reduce、Reuse、Recycle) に、2R (Replace、Re-create) を加えた「SKG-5R」を推進しています。

「テクポリマー BIO EF-C シリーズ」は、石油由来の素材から植物由来の素材に置き換えた「Replace」の一例です。今後も、塗料用途をはじめとする幅広い分野での展開を図り、持続可能社会への貢献に努めていきます。